

## 第 116 回・日商簿記検定試験 3 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	現金過不足	当座預金	受取手形
売掛金	未収金	前払金	建物
売買目的有価証券	支払手形	買掛金	仮受金
貸倒引当金	前受金	未払金	売上
受取家賃	雑益	固定資産売却益	有価証券売却益
貸倒損失	有価証券売却損	雑損	貸倒引当金繰入
消耗品費	交通費	減価償却費	支払手数料

1. 小笠原商店へ商品 400,000 円を売り渡し、代金のうち 250,000 円については、かねて当店が村上商店を受取人、諏訪商店を名宛人として振り出した為替手形を裏書譲渡され、残額については月末に受け取ることにした。なお、小笠原商店負担の発送運賃 8,000 円については、小切手を振り出して立替払いした。
2. 営業用の建物を 5,000,000 円で購入し、代金は当月末に支払うこととした。なお、仲介手数料 100,000 円については、小切手を振り出して支払った。
3. 前月末に得意先より 300,000 円が当座預金口座に振り込まれたが、その内容が不明であったため仮受金として処理していたが、本日得意先から連絡が入り、その内訳が売掛金の回収額 200,000 円と、注文を受けた商品 400,000 円に対する内金 100,000 円であることが判明した。
4. 前期に生じた売掛金 300,000 円が得意先の倒産により回収できなくなったため、貸倒として処理する。なお、貸倒引当金の残高は 250,000 円である。
5. 当期中に売買目的で取得した直江工業株式会社の株式 10,000 株（1 株当たり購入単価 500 円、その他に購入時に証券会社へ支払った手数料は総額で 30,000 円）のうち、5,000 株を 1 株につき 502 円で売却し、代金は月末に受け取ることにした。